

## 第15回 磁粉・浸透・目視部門・電磁気応用部門・漏れ試験部門 合同シンポジウム「表面探傷技術による健全性診断」講演募集

(社)日本非破壊検査協会の磁粉・浸透・目視部門・電磁気応用部門・漏れ試験部門の3部門合同で、年1回恒例のオープンシンポジウムとして、本年度第15回となるシンポジウムを、標記テーマにて開催することとなりました。3部門の委員や当協会会員にかぎらず、広く講演発表を募集致します。3部門の探傷検査に関わるものであれば、どんなテーマでも結構ですので、奮ってご応募頂きますようお願い致します。

非破壊検査技術は、近年、エネルギー施設や化学プラントなどに加えて、いわゆる産業基盤としてのインフラストラクチャーの健全性診断へと、その対象範囲を広げつつあります。戦後の急激な経済成長とともに建設され、その老朽化が表面化しつつある、わが国のインフラストラクチャーにおいては、それらの健全性診断が極めて今日的な課題となっており、この分野における非破壊検査技術への期待は、ますます高まっているといえます。

表面探傷技術を電場・磁場から電磁波・光・液体からガスまでを含めて、表面における事象とその応答を手がかりとした検査方法と捉えれば、これまで目視検査に頼っていた構造物や部品の健全性検査においても、より定量的な診断が可能になると思われれます。

本シンポジウムでは、このような各種構造物や設備の健全性診断と、その分野における表面探傷技術に焦点をあて、各方面から広く講演を募集して、現時点における技術の水準と今後の動向を詳らかにするとともに、健全性診断において表面探傷技術が果たすべき役割などについても、幅広く議論して頂く機会となることを望んでおります。

### 講演募集テーマ

- (1) 健全性診断への適用に向けた表面探傷技術の高度化
  - 1) 新しい探傷技術の開発
  - 2) 従来技法の高度化、技術改良
  - 3) 信号処理技術、イメージング技術における革新
- (2) 広範囲にわたって健全性診断に有利な表面探傷技術
  - 1) 画像による診断
  - 2) マイクロ波レーダー法、その他の方法
- (3) 表面探傷技術による健全性診断の適用事例
  - 1) 土木分野への適用（橋梁、道路、トンネルなどの各種土木構造物）
  - 2) 建築分野への適用（文化財建築なども含む）
  - 3) 各種プラント設備への適用（鉄鋼、エネルギー施設、化学プラントなど）
  - 4) その他の機器や設備への適用
- (4) 規格の動向

日 時：平成24年2月20日（月）・21日（火）

会 場：東京都城南地域中小企業振興センター 2階研修室  
東京都大田区南蒲田 1-20-20

主 催：日本非破壊検査協会 磁粉・浸透・目視部門・電磁気応用部門・漏れ試験部門

協 賛：関連学協会依頼予定

参加費：

表面3部門登録団体会員*（1名のみ）	無料
表面3部門委員会登録個人会員*	
登壇者*	
上記以外のJSNDI正会員*	3,000円
協賛団体会員*	4,000円
その他*	5,000円
学生	無料 （ただし、論文集2,000円/冊）

（注：\*印は、論文集1冊含む）

講演申込締切日：平成23年11月30日（水）

原稿提出締切日：平成23年12月20日（火）厳守願います。

原稿枚数：A4版（刷上りB5版），6頁以内の偶数頁

申込方法：下記掲載の講演申込書をA4版に拡大し必要事項をご記入の上、FAX  
またはE-mailにてお申し込み下さい。なお、申込書は下記の当協会ホームペ  
ージからもダウンロードできます。

申込先：〒101-0026 東京都千代田区神田佐久間河岸 67 番地 MBR99 4階  
（社）日本非破壊検査協会 学術課「第15回表面探傷シンポジウム」係

TEL (03) 5821-5105 FAX (03) 3863-6524

E-mail：[nakamura@jsndi.or.jp](mailto:nakamura@jsndi.or.jp)

URL：<http://www.jsndi.jp/>